



灘区に初めて市バスが走ったのは昭和5年。昭和4年に神戸市に編入され、誕生した灘区。それまで細い道ばかりでしたが、耕地整理、土地区画整理が完了し、道路が整備されていったのにも関わらず、バス路線も増えていきました。最初のバス路線は、現在区役所のある桜口を出発し、大石川～敏馬～三宮～海岸通～新開地～松原～東尻池を経て須磨駅に至る、神戸市を横断するバス。それから70年。灘のバスの歴史を振り返ってのあんなこと、こんなこと。「灘バス豆知識」をお送りいたします。



### 「下のバス道」ってどこ？

灘区に住んでいると「上のバス道」「下のバス道」という言葉を聞いたことがあるかと思いますが。上のバス道とは現在の2系統が走っている道。下のバス道は山手幹線をさすと思われている方もいると思いますが、正確には「市電道」。下のバス道とは上筒井～大石～灘駅などを結ぶ市バス(下記いにしえの「下のバス道」に行く参照)が走っていた天城通と福住通の境を東西に走る一方通行の道をさします。ご存知でしたか？



戦前の「上のバス道」(上野通)

### 灘の地名にちなんだバス？

歴代の神戸市の観光バスには、神戸の地名などがつけられました。灘区にちなんだバスは「ろっこう」「まや」「みぬめ」「なだ」。特に昭和26年に登場した「まや号」は美しい流線型で、天井にも窓がつけられ、当時最新鋭のイカしたバスでした。今でも十分カッコいいですね。



まや号



みぬめ号

### 市バス以外のバス

六甲山に登る阪急登山バス、六甲山と摩耶山を結ぶ六甲摩耶スカイシャトルバス、国道2号を走る阪神国道バスなどがあります。かつては阪神大石駅と摩耶ケーブル下を結ぶ摩耶バスや阪神新在家駅と六甲ケーブル下を結ぶ六甲越有馬鉄道バス、灘駅～摩耶ケーブル下～阪神大石駅を結ぶ六甲山乗合バスなどのバスが運行していました。



六甲ロープウェイと連絡市バス  
写真:「神戸市交通局60年史」(神戸市交通局)

### いにしへの「下のバス道」に行く

オールド灘区民ならおぼえているかもしれない「下のバス道」(青谷町・王子町～天城通・福住通)。今はバス路線としては使われていませんが、60年ほど前バスに乗っている気分で「下のバス道」を探訪してみました。こんなところをバスが走っていたんですね。



当時の西の始点「上筒井」。原田線を東へ進み、王子動物園の西の道を北へ上がります。当時のバスは、この坂道を上るのは大変だったのではないのでしょうか？

葺合高校の正門前、アーチエリー場あたりで右折。ハッター邸の前を通過していた、王子動物園内を横切る道路を東へ進みます。

天城橋で青谷川を越え、いよいよ「下のバス道」に入ります。現在は一方通行ですが、当時は対面通行。すれ違いが難しそう。

つきあたりを左、さらに右に折れると都賀川に。ここから大石や、篠原小川筋(灘公設市場前)へとバスは走っていました。

# なだ だな

編集 灘区民まちづくり会議  
企画運営委員会  
発行 灘区役所  
〒657-8570  
灘区役所まちづくり推進課内  
(078) 843-7001(代)

なだだな No.18  
2006年10月

灘区ホームページ「i-nada」  
<http://www.city.kobe.jp/nada/>

第三火曜は「ちょっと気配り」参加の日  
一ちょっとした気配りで  
住みよい灘区を一



神戸市広報印刷物登録  
平成18年度第182号-2  
(広報印刷物規格B-1類)  
この広報紙は、再生紙を使用しています。

# なだ だな

灘のまちを知るための  
情報誌

2006.10  
Vol.  
18

編集  
発行

灘区民まちづくり会議  
企画運営委員会  
灘区役所

灘のまち探検隊、  
市バスで灘観光。

# バスde GO!





# 灘のまち探検隊、市バスで灘観光。

# バス de GO!

灘区にはいろいろなバスが走っています。普段は目的地にいくためのバスですが、ふらりとバスに乗って灘のまちを眺めてみようという企画。今回は六甲道から山の手をめぐる路線102系統に乗ってみました。観光バスのようにバスを楽しんでみると、いつもとは少し違う街の風景が見えてくるかもしれませんよ。

### 摩耶山への入り口

大きな木陰がある摩耶ケーブル下バス停。急坂を上ってきたバス氏もここで一息。ここからケーブルに乗ればそこはもう摩耶山です。



### サンフランシスコっぽいかも…

やがてバスは山の手静かな住宅街を進んでいきます。南北の道路との交差点からは海をのぞむことができます。北側の車窓はというと、もうすぐそばまで山が迫っています。そう!このロケーションはまるでサンフランシスコではありませんか!やっぱり思い切ってこの坂道にケーブルカーを走らせてみたいですね。便利だし、なにより楽しいと思うのですがね(探検隊一同)



### 沿道途中下車～五毛通・国玉通かいわい～

車窓からお気に入りの風景を見つけたら、途中下車してみてもいいですか? 今まで知らなかった灘の魅力が見つかるかもしれません。今回途中下車した五毛通、国玉通かいわいは、昔からある細い路地が網の目のように走っています。もともと田畑のあぜみちを道路にしたので、くねくねとまがってまるで迷路に迷い込んだかのような錯覚に。



▲古い石垣も健在です。  
▼路地の途中の小さな公園  
▲小さなほころ「薬師堂」  
▼川のほとりのお地藏さん



### 中央区ですが…パン屋通り

青谷川を渡り、海星女子学院を越えると中央区に。野崎3丁目の交差点からバスはエンジンをうならせて、青谷への坂を登ります。この通り沿いに、4軒の名物パン屋さんを構えています。ご近所の方のお話によると、「ここは、通称『パン屋通り』、みなさん、これで通じますよ～」とのこと。そういえばなんとなくおいしそうなおいが…。

### 西灘アーチ橋

阪急王子公園バス停をすぎると、バスは進行方向を大きく変えます。阪急の下をくぐる大きなアーチが「西灘拱橋」です。それまで地面を走っていた阪急電車が昭和11年に高架で三宮に乗り入れることになったのでつくられたアーチ橋です。当時はまだ王子公園ができていなかったため「阪急西灘」という駅でした。このあたりには今でも「西灘」がつくものが残っています。探してみても?

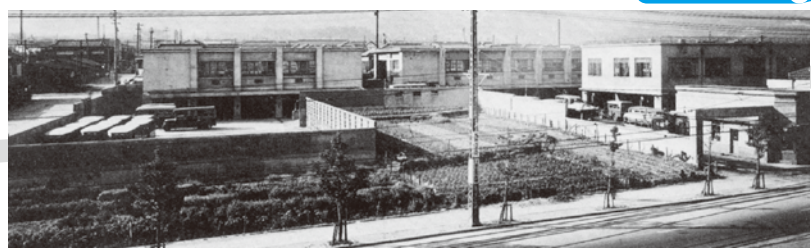


### 「イタキュー」が走っていた頃

昭和29年に10系統(三宮駅前～板宿)と1系統(三宮駅前～石屋川)が統合され、水道筋と須磨区の板宿という神戸有数の商店街を結ぶ長い路線「1系統急行バス」が誕生しました。市バスでは珍しい急行運転がよこばれ、市民からは「板急(板宿行き急行)」として親しまれましたが、後年廃止されました。(写真は9系統急行バス)

### 灘車庫を覚えていますか?

琵琶町3丁目の環境局東部車庫がある場所には、かつては交通局の「灘車庫」がありました。昭和8年、見渡すかぎりの田んぼと畑の阪神国道沿いに建設された歴史ある車庫でした。ちなみに石屋川車庫の誕生は昭和44年。それまで市電石屋川車庫として使われていましたが、市電の廃止に伴い、市電代行ワンマンバス専用車庫として生まれ変わりました。



# ここからスタート!

今回乗ったバスは市バス102系統。JR六甲道駅から水道筋かいわいを通り、そのまま北へグイグイと登り、山の手を巡る、南北バス。細い道や急な曲がり角も曲がれるように普通の市バスより小さなかわいいバスです。車体には灘区の花マリーゴールドや王子動物園など灘の絵が描かれた灘区オリジナルバスです。

